

4・5月のできごと



下平川小学校5年生による田植えが、余多字老人クラブの指導のもと、5月9日、余多ふれあい公園でありました。地域の子供達の成長を願いあげられた鯉のぼりが、気持ちよさそうに泳ぐ中で、元気いっぱいの子供達が、泥だらけになりながら田植えを楽しんでいました。

泥だらけって気持ちがいい！



5月19日、「いきいきクラブジニヤ（代表 渡辺美津代）」のメンバーが、子ども達が楽しく遊んで欲しいと願い、手作りのお手玉を各小学校に100個ずつ寄附しました。同クラブのメンバーは15人程で、最高齢が97歳。週1回集まり1か月間掛けて約600個のお手玉を作りました。

昔ながらの手作りお手玉を寄附



歌唱療法士の清水恵子さん（芦清良）による「歌唱療法」の実践が、5月20日、社会福祉協議会のデイサービスでありました。この「歌唱療法」は歌いながら呼吸法や脳のトレーニングを行い動きにくくなった身体の機能も回復させ心身ともに若返ることを目的としています。

「歌唱療法」で元気に



第16回五月の祭典が、5月21日、あしびの郷・ちなでありました。今回のゲストは、石垣島在住の3人組バンド「きいやま商店」で、元気で盛り上がる歌とともに息の合ったパフォーマンスも披露し、訪れた人たちはタオルを振り回すなど、体を動かしながら楽しんでいました。

第16回五月の祭典



4月14日以降に発生した「熊本地震」の被害に対し、各字や役場、Aコープ、ニシムタなどで集められていた義援金（123万4467円）が、社会福祉協議会で取りまとめられ、5月27日、町長室でその報告がありました。集まった義援金は、共同募金会を通じて被災地へ送られます。

ご協力ありがとうございました



第2回知名町収穫祭が、5月29日、町民体育館でありました。収穫祭では、農水商工に携わった関係者の労をねぎらうとともに、また新たな年が実りある1年になることを願った祈願祭で始まり、マグロの解体ショーや多くの演芸も披露され、会場を訪れたみなさんは鋭気を養っていました。

今年も実りある一年を祈願して